

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2010-541377(P2010-541377A)

【公表日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2010-526883(P2010-526883)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月16日(2011.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

受信機において使う方法であって：

受信シンボルのシーケンスを与えるための信号を受信する段階であって、受信される信号はフレームを含むスーパーフレームを表し、各フレームは受信シンボルのグループを有し、各フレームは異なる初期位相を有していてもよい擬似ノイズ・シーケンスをもつヘッダを有する、段階と、

隣接し合う信号フレーム内の受信シンボルのグループの自己相関を取ることによって、前記スーパーフレーム内の各フレームについてのフレーム番号を決定する段階であって、自己相関を取られるシンボルは異なるフレーム・ヘッダの擬似ノイズ・シーケンスを含む、段階とを有する、

方法。

【請求項2】

前記信号がデジタル・マルチメディア放送 地上波(Digital Multimedia Broadcast-Terrestrial) テレビジョン信号であり、前記決定する段階が、フレーム・ヘッダ・モード1およびフレーム・ヘッダ・モード3について実行される、請求項1記載の方法。

【請求項3】

請求項1記載の方法であって、前記決定する段階が：

右シフト相関から最大右シフト相関値を判別し；

左シフト相関から最大左シフト相関値を判別し；

前記最大右シフト相関値の大きさが前記最大左シフト相関値の大きさ以上である場合には、前記最大右シフト相関値を使ってルックアップテーブルからフレーム番号を取得し；

そうでない場合には、前記最大左シフト相関値に負号を付けた値を使って、前記ルックアップテーブルからフレーム番号を取得することを含む、

方法。

【請求項4】

受信シンボルのシーケンスを与えるための信号を受信し、ここで、受信される信号はフレームを含むスーパーフレームを表し、各フレームは受信シンボルのグループを有し、各フレームは異なる初期位相を有していてもよい擬似ノイズ・シーケンスをもつヘッダを有する、ダウンコンバータと；

隣接し合う信号フレーム内の受信シンボルのグループの自己相関を調べることによって、前記スーパーフレーム内の各信号フレームについてのフレーム番号を決定するプロセッサであって、自己相関を調べられるシンボルは異なるフレーム・ヘッダの擬似ノイズ・シーケンスを含む、プロセッサとを有する、

装置。

【請求項 5】

前記信号がデジタル・マルチメディア放送 地上波 (Digital Multimedia Broadcast ing-Terrestrial) テレビジョン信号であり、前記プロセッサが、フレーム・ヘッダ・モード 1 およびフレーム・ヘッダ・モード 3 についてのフレーム・タイミングに同期する、請求項 4 記載の装置。

【請求項 6】

請求項 4 記載の装置であって、前記プロセッサが、右シフト相関から最大右シフト相関値を判別し、左シフト相関から最大左シフト相関値を判別し、両者を比較して前記フレーム番号を決定するためのルックアップテーブルへのポインタを決定する、装置。